

## <事業所自己評価>

### 【事業所概要】

法人名	医療法人 光陽会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業所 アットホームやすらぎ
所在地	(〒245-0016) 神奈川県横浜市泉区和泉町7315-7 いずみ光ビル1階		

### 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 <u>3</u> 月 <u>21</u> 日	従業者等自己評価 実施人数	( <u>14</u> ) 人	※管理者を含む
----------------	----------------------------------	------------------	-----------------	---------

※ 当該様式は、「事業所自己評価」の結果を整理するとともに、その結果を運営推進会議へ報告するための様式として使用します。また、運営推進会議において得られた主なご意見等は、次ページ以降の「運営推進会議における意見等」の欄にメモします。

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
				自己評価	運営推進会議における意見等
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		事業所理念について、新規スタッフ・派遣職員の理解度が低い傾向となっています。入職時研修・継続研修の中で改めて事業所について理解が深められるよう、引き続き伝えていきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職者への研修実施</li> <li>・スタッフ配置に柔軟性を持たせた取り組み</li> <li>・多職種面談の実施</li> </ul>	・昨今の人員不足、人件費の高騰を受け、派遣職員の入れ替えが多くなっており、派遣職員の配置について、多職種と相談しながら上手く活用できるよう試行錯誤を行なっています。	・派遣スタッフさんの入れ替えが多く、長続きしない方が目立ちます
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	終末期ケアについて介護スタッフの家族対応・説明について不安や自信のなさが他のアンケートでも確認出来ています。普段より多職種で情報共有を行ないながら対応を行っていますが、単独で対応している際の受け答えについて不安を感じる傾向があります。全ての不安を解消することは難しいと思いますが、個別・集団研修を実施し、質の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスの随時開催</li> <li>・看護スタッフによる個別フォローアップ</li> </ul>	・看護スタッフが中心となり、継続した指導を行なっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい看護師さんの定着を期待します</li> <li>・看取りのケースの受け入れはスタッフ側にとって大変な負担と責任があると想像いたします。貴事業所がチームとなり、今後とも貴重な役割を果たしてくださることを望みます。</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	引き続き、多職種間での情報共有・意見交換を交えながら、相互関係が良好な状態を保て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模連絡会の定期参加</li> <li>・緊急連絡先書式の統一</li> <li>・他機関主催の研修参加</li> </ul>	・小規模連絡会メンバーも定着し、気軽に相談し合える体制が出来ています。	

		るよう努めていきます。		・他機関主催の研修に複合型サービスの説明依頼を受け、参加させて頂きました。	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	医療ケアを受けながら、在宅生活を続けていきたいというニーズに対して今後も対応できるよう、運営体制の維持に努めていきます	・地域相談窓口、担当者の設置 ・パンフレットに地域相談窓口の案内掲載	・パンフレットの更新に合わせて、地域相談窓口を設置させて頂いています。担当できるスタッフが少ない為、増員したいと考えています。	・地域の力が弱くなっている ので幅広い対応・相談窓口としての機能を期待します
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		ご本人様の状態、ご家族様等の心身状況に合わせながら、ご自宅で過ごす時間と事業所内で対応する時間を調整するとともに、面会対応を柔軟にすることによって、ご本人様とご家族様が一緒に時間を過ごせる機会づくりに今後も努めていきます。	・柔軟な面会時間の体制維持 ・小まめな状態変化の家族への報告	・開設時より面会については本人、家族が一緒に過ごせる時間が作れるよう対応を継続しています。今後も今の体制が維持できるよう努めていきます。	・ずっと柔軟な面会対応をして頂いています

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目		改善計画（案）	運営推進会議における意見等
Ⅰ．事業運営の評価 (評価項目 1～10)		事業所理念について、新規スタッフ・派遣職員の理解度が低い傾向となっています。入職時研修・継続研修の中で改めて事業所について理解が深められるよう、引き続き伝えていきます。	・特に派遣スタッフさんが長続きせず、名前を覚える前に居なくなることが多く感じています。長く続けてくれるスタッフが定着して欲しいと思います
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	現状の体制が維持できるよう努めていくとともに、リーダー格職員の育成、看護スタッフの増員を行ない、サービスの質の向上・維持を目指します。	・泊り回数の多い方、訪問回数の多い方、通い回数の多い方、それぞれの切迫したニーズに応えようと事業所・スタッフが努力してくださっていることが報告内容から伺えます。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	引き続き、多職種間での情報共有・意見交換を交えながら、相互関係が良好な状態を保てるよう努めていきます。	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	医療ケアを受けながら、在宅生活を続けていきたいというニーズに対して今後に対応できるよう、運営体制の維持に努めていきます	・毎日、在宅生活を続けられるか悩みながら生活しています。急な利用も引き受けて頂けることは非常に助かっています。
Ⅲ．結果評価 (評価項目 42～44)		ご本人様の状態、ご家族様等の心身状況に合わせながら、ご自宅で過ごす時間と事業所内で対応する時間を調整するとともに、面会対応を柔軟にすることによって、ご本人様とご家族様が一緒に時間を過ごせる機会づくりに今後も努めていきます。	

※「改善計画（案）」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表〔事業所自己評価〕

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	9	5				✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
				[具体的な状況・取組内容] 事業所理念をパンフレットに掲載、事業所内に理念を掲示し、日々全うできるよう努めています。			
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	7	7			・「医療が含まれる介護」を病院・施設以外で叶えるために、貴事業所は貴重な存在です。今後も一人一人を大切にされたケアを継続してください。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
				[具体的な状況・取組内容] 医療依存度が高く、重介護であっても在宅生活を続けたいというご家族様のご要望に対して出来る限り応えられるよう、職員に日々協力・理解を求めながら、対応させて頂いています。			
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成してい	3	9	2			✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画
				[具体的な状況・取組内容] 各職員と現在の出来る・出来ない事を共			

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	る	有しながら、レベルに合わせて計画を作成し指導を行なっています。					などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	8	3	3			✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	9	5				✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	7	7				✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ている声を良く頂いています。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くこと ができる就業環境の整備に 努めている	7	6	1		・スタッフさんが少しでも長 く働けるよう環境整備に努 めて頂きたいです	✓ 「職員が、安心して働くことので きる就業環境」の充足度を評価し ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」な どが考えられます
[具体的な状況・取組内容] 研修参加への勤務調整を柔軟に行ない、 能力向上支援を実践しています。有給休 暇の取得について、しっかり消化でき るよう書面や声掛けにて周知に努めていま す。 体調不良など特別な理由がある場合につ いては労働時間の短縮など柔軟な対応を 実施しています。							
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている	9	5				✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価し ます
[具体的な状況・取組内容] 申し送りや連絡ノートを活用し情報共有 に努め、情報更新と共有に努めています。 また、状態変化や対応変更があった際、 自然と多職種が声を掛け合い、迅速に情 報共有が出来る環境を整えています。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	9	5			・事故やヒヤリハットが起こった際の振り返りが重要です。ミスの指摘ではなく、具体的に実施可能な対応を考える雰囲気づくりをお願いします。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	7	6	1		・近隣の方も同じように年を取っており、自分たちの事で精一杯である状況は同じだと思っています。避難所までどうやって連れていくか本当に大きな災害が発生した時はどうなるか分かりません。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	7	5	2			✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] ご利用者・ご家族から聞き取りを行なうとともに、送迎時や訪問サービス提供時に得た情報を各職員と確認を行ないながら、日々情報収集を行なうように努めています。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	11	2	1			✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容] カンファレンスや申し送り時に、各職種で得た情報を確認し合い、情報共有を行なっています。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	7	7				✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
[具体的な状況・取組内容] ケア提供時、送迎時、面談時などに本人・家族の考えや思いを確認しながら計画作成に努めています。							
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	7	7				✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
[具体的な状況・取組内容] 個人の能力を活かせる場面を作り、生活をする中で自然と心身や生活機能が維持できる計画作成を意識しています。							
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	7	7				✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
[具体的な状況・取組内容] 病状の変化に備え、予測されるリスクについて事前に本人・家族と確認を行ない、介護・看護と相談を重ねながら計画作成に努めています。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	7	7				✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> サービス利用時、送迎時などの際、状態に変化が見られた際は、当日の申し送り時やカンファレンス等で情報を共有し、早期に反映できるようにしています。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	7	7				✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> サービス利用時や送迎時、その他訪問サービス提供の際に、ご本人・ご家族に生活状況を確認するとともに、自宅内に変化がないか普段の関わりの中から異変がないか、スタッフ間にて確認し合いながら状況把握に努めています。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	7	7				✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 状況の変化が見られた際、主治医や関係機関に電話または書面による報告を行ない、情報共有に努めています。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	10	4				✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 各職に意見や対応方法を確認し、専門職としての視点・意見を求める機会を必ず作り、日々のケアに活かしています。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	12	2				✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 日常的に介護・看護職員が声を掛け合うことが定着しています。その場で多職種による短時間の相談を行ない、定期カンファレンスでも情報共有を行なうなど、常に連携が取れるよう努めています。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供	12	2				✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、
		[具体的な状況・取組内容] 朝・夕の申し送り時に看護職より病状説明、予後などについて情報提供を行なっ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や提案等を行っている	ています。また病状理解を深める為、各自独学で最新情報を確認しながら日々対応にあたっています。					看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	9	5				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 専門的な言葉は出来る限り避け、その方にとって理解しやすいような表現方法を選択しながら対応を行なっています。また、ご利用者、ご家族の反応をみながら、補足説明を行なう事を意識しています。							
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	7	7				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 専門的な言葉は出来る限り避け、出来る限り分かりやすく短い言葉で伝えるよう努めています。							
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解	8	6			・退院時に病院から取り扱い説明を受けるが不安なまま退院することがあります。すぐにフォローに入っていただけるのは非常に助かりま	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 多職種で処置方法や機器の取り扱い説明に同席を行ない、ご家族様と一緒に理解を深めるよう努めています。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	を得ている					す	
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	9	5				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 本人が意思決定を行なえない場合は、ご家族等から意向を確認しながらサービス提供に反映させています。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	8	5	1		・もう介護できないと思い悩むことが多々あります。そのような時に相談したり、サービス量をすぐに調整して頂けるのは心強く思っています	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ご利用者・ご家族等とサービス提供時等に、どのような状況ならば在宅生活を続けていけるかな、今後考えられる状況を常日頃から話し合いを行ない、方針について共有できるよう実践しています。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	9	5			・不安な時、連絡をすればいつでも来て頂ける体制は非常にありがたいです。今後もこの体制を維持できることを望みます	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 医師・看護師・介護職員等多職種にて、予後について確認し、家族への説明、それに対する反応や不安と思われることについて共有を行ないながら、対応を行なっています。 説明日、希望を確認した日などについて					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		は各職種にて記録として残し、必要に応 じて記録の共有も行なっています。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	9	5			・報告内容から、緊急の受け入れに関しても最大限の努力をしていることが推察されます。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 事前面談、退院前カンファレンスの参加を行ない、円滑に在宅生活が送れるよう対応を行なっています。					
③ 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	9	4	1			✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 事前にご利用者・ご家族に緊急時の対応方法についての意向確認を行ない、主治医と相談、情報共有を行なっています。また状態変化が見られた際などに改めて意向に変わりがないか確認を行なっています。					



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
④ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	8	6				✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 緊急時の対応については、事前にご家族・ご本人・主治医と確認を行ない、24時間緊急時体制を作り上げています。また緊急用利用者名簿を作成し、主治医・緊急時連絡先・医療機器取扱い先・キーパーソン連絡先をまとめ、臨時で対応する職員にもわかりやすい環境づくりに取り組んでいます。							
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	4	10			・コロナも落ち着きましたので、地域住民（自治会役員等）を運営推進会議に入れる方向で調整をお願いします。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> web 会議を活用した運営推進会議の開催が定着しています。事業所で課題と感じていること、他に活用できる資源について幅広い意見を求める場として活用しています。							



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録についで、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	8	5	1		[具体的な状況・取組内容] 開催後、1週間程度で事業所入口付近に 設置してある情報公開用資料を更新し、 いつでも閲覧可能な状態としています。	✓ 「誰でも見ることができ る方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極的 な啓発活動が行われている	2	9	3			[具体的な状況・取組内容] 地域の相談窓口担当者を事業所内に配置 し、パンフレットに担当窓口のご案内を 掲載させて頂いています。
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極的 に実施している					[具体的な状況・取組内容] 訪問看護単体で活動している事業所が併 設している為、実績はありません。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を 併せて受けている事業所」のみが 対象です。該当しない場合は、実 施状況欄は無記入で、[具体的な 状況・取組内容]欄に「指定なし」 と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							<p>看護」を実施していない場合、 「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の観点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	10	4			<p>・夜間も痰吸引が毎日できる ようになっていただくと 非常に助かります</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の観点から、充足度を評価します</p>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている		3	4	7		<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の観点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	11	2	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	3	7	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携に関する研修・会議を区役所・医療連携室で行っています。是非ご参加ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積	8	5	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定するこ</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	極的にサービスを提供している	障が出ない事を優先し、遠方のエリアの方については他の地域資源のご提案を行っています。特定の集合住宅等のみを対象とはしておりません。					となく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	12		1		✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	2	9	3		・利用者様を通して近隣住民への働きかけを続けていくことは大切だと思います。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> サービス提供中など、近隣住民の方にお会いした際は、顔を知っていただく為、挨拶を行なうことを意識しています。また特に一人暮らしの方については緊急時、事業所に連絡をして頂けないかなど、協力を求める対応を実践しています。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている ③. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④. 利用者の1/3には満たない		✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 利用開始前に、本人・家族と相談し計画を作成し、大目標については概ね達成できています。		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている ③. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④. 利用者の1/3には満たない <u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 医療ケアについて不安を抱えながら行なっている方が非常に多く、療養生活上のアドバイスを日々行ないながら、不安が少しでも解消されるよう継続的な支援を実践しています。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等にお	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	いて、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>〔具体的な状況・取組内容〕</u></p> <p>本人・ご家族の希望を出来る限り実現できるよう、多職種で連携のもと支援が出来る体制を整えています。支援中もその都度、心身状況の把握に努め、不安なくお看取りが出来るよう努めています。</p>		<p>看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>